

倍也。是唇音にて外に發し、葩を顯す、形蓄に倍せり。

〔剪花翁傳 前編〕花形分解之辨略○中

二に曰、苞は、龜皮也。苔を包むの義。蓋花の萌しある芽を花袋といへり。此芽は拔群大にして、萌せる苔の形、漸々蔓る時、龜皮を被り出る故に苞をつぼみともよべり。

〔天文本倭名類聚抄稻穀具種子〕日本紀私記云、水田種子

太奈都  
毛乃  
豆毛乃  
種太禰  
反

〔伊呂波字類抄太植物附植物具穀タナツモノ〕種子同

〔倭訓栞前編十四〕たね 種をよめり、田根の義なるべし。

〔類聚名義抄子〕子即里反タネ

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

大和國三十八種 櫃子一斗六升○申車前子二斗八升

攝津國四十四種

葵子大五升

〔類聚名義抄山〕實時質反和シチサネミノル

〔伊呂波字類抄見植物附植物具〕實子同

〔倭訓栞前編三十六〕み〇中 實は身に同じ、子もよめり、

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

大和國三十八種 枳實通草、大戟各十斤

〔倭名類聚抄果蓏具〕核爾雅云、桃李之類皆有核、郭注云、子中有核人此所引恐舊注也、單引爾雅非是

按說文、核、蠻夷以木皮爲篋狀如籜尊、又云、覈實也、二字不同、果中之核、覈實之義、轉注者、宜用覈字、以核爲之者、古音近而假借也、下總本僞作爲、伊勢廣本同、按廣韻核下革切屬匣母、僞危睡切屬疑